

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社及び九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年11月18日（水）13：30～13：55

3. 場所：原子力規制庁 2階B会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田室長、笠川室長補佐、米林主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官

川口技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他2名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループ 副リーダー

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 主任

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 上席主任

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

5. 要旨

（1）本年11月6日の面談に引き続き、原子力規制庁は、配付資料（1）及び（2）に基づき、大飯3，4号機及び玄海3，4号機のレベル1.5 PRAモデルに関する質問事項について、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）及び九州電力株式会社（以下「九州電力」という。）に対し説明を行った。

（2）今後、関西電力及び九州電力は、原子力規制庁からの質問に対する回答を作成することとし、原子力規制庁は、回答において詳細な説明が必要なものについては、継続して面談で確認していくこととした。

6. 配布資料

- (1) 事業者レベル1. 5PRAモデル（大飯3, 4号）の適切性の確認のための質問事項（その3）（原子力規制庁資料）
- (2) 事業者レベル1. 5PRAモデル（玄海3, 4号）の適切性の確認のための質問事項（その3）（原子力規制庁資料）